

## 第25回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団報告書 団長挨拶

2019年11月26日から12月3日にかけて、第25回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団一行29名は8日間の日本訪問を行いました。

今回の代表団は北京大学、北京師範大学、北京語言大学、中国伝媒大学及び外交学院の優秀な学生により構成されています。日本滞在期間中、団員らは日本航空、パナソニック、ソニー、三菱商事、三菱UFJ銀行、ホテルニューオータニといった日本企業6社への訪問、京都大学や早稲田大学の学生との友好交流、高台寺や箱根等での茶道、座禅、温泉といった日本の伝統文化体験の他、周恩来詩碑及び日比谷松本楼では偉人の足跡をたどり、中国駐日大使館では日中関係の歴史や発展の現状について学び、日本の一般家庭においてはホームステイを体験いたしました。団員らは今回の活動を通じて日本企業の進んだ技術や経営理念を目の当たりにし、日本の同年代の若者との友情を育み、さらに日本の歴史や文化そして日中関係について理解を深めるなど多くの収穫を得ました。

日中両国は一衣帯水の隣国であり、二千年以上の交流の歴史において平和そして友好は常に主流、また両国の人々の共通の願いでもありました。昨年以降、両国首脳の方強いリーダーシップの下、日中関係は正常な発展の軌道に戻り、長年目にする事のなかった両国関係の改善・発展に向けた新たな動きが現れております。今年6月、習近平主席は安倍晋三首相と大阪で会談し、新時代の要求に合った日中関係を共に構築するとの点で共通認識を得るなど、両国関係の発展における方向性を示しました。日中友好の根本は民間にあり、その未来は青少年に掛かっております。両国政府は今年2019年を日中青少年交流推進年と定め、今後5年以内に双方は3万人規模の青少年の相互訪問交流を行います。日本の経済界が支援する青少年交流活動である「走近日企・感受日本」中国大学生訪日プロジェクトは2007年の開始以来、その客観性・緊密性・実践的・友好的との特色から日中の青少年交流における有名ブランドとして関係各方面より高い評価を頂いております。中国日本友好協会は日中青少年交流推進年を契機とし、中国日本商会、日中経済協会及び日本の関連各企業の皆様と共に「走近日企・感受日本」中国大学生訪日関連事業を確実に実施し、両国の友好と未来を担う青少年の交流をさらに強化し、日中の代々の友好のための新たな原動力を絶えず育む所存でございます。

最後に、今回の代表団の日本訪問に際して多大なご支援を頂いた中国日本商会、日中経済協会に改めまして心より感謝申し上げます。

第25回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団 団長  
中国日本友好協会副秘書長  
程海波